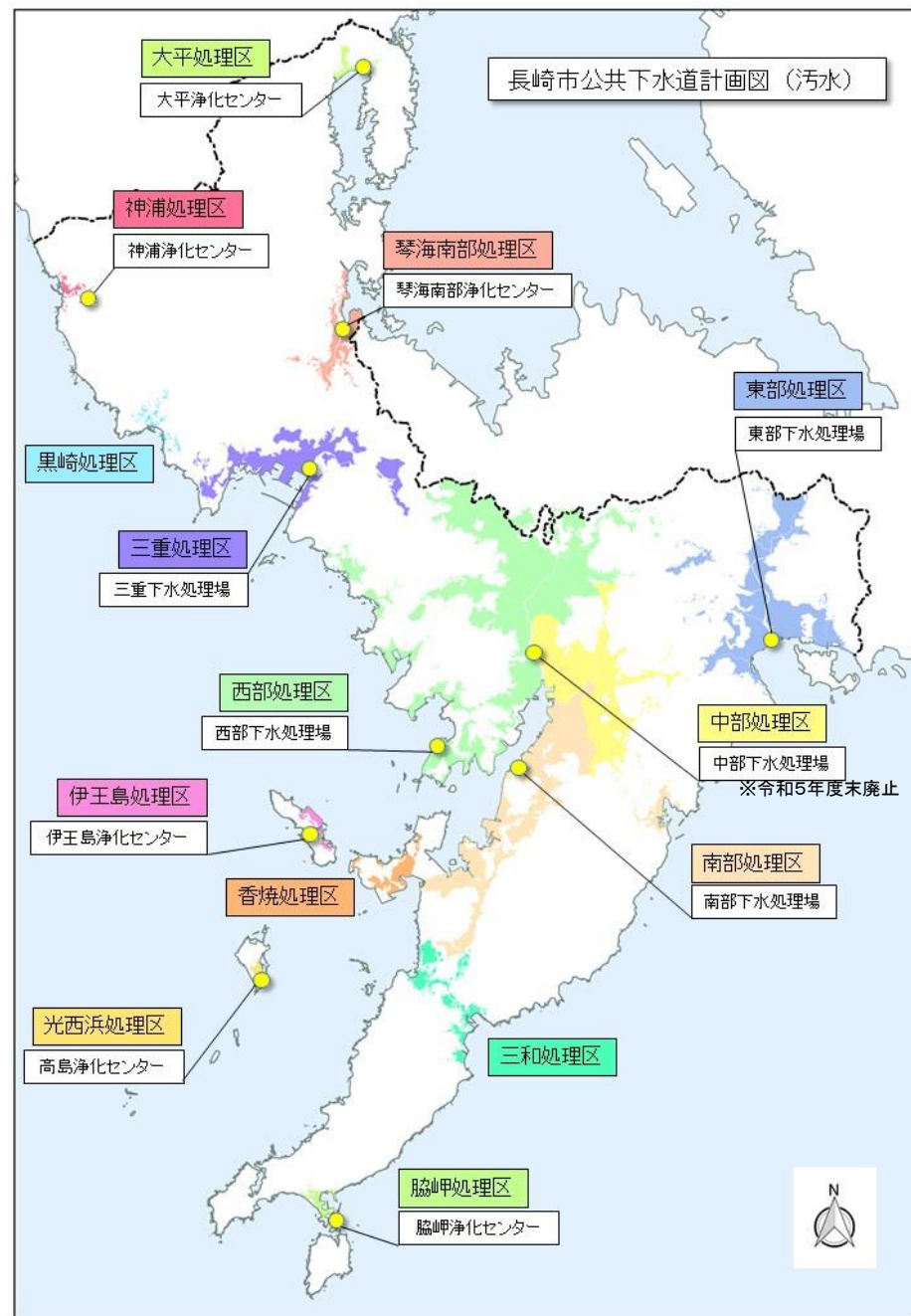




三重下水処理場の沿革

昭和53年	1月	第7次事業認可変更（三重処理区の追加）
昭和55年	10月	処理場工事着手
昭和59年	8月	処理場供用開始
昭和60年	1月	第13次事業認可変更（三重処理区の拡大）
昭和62年	2月	第15次事業認可変更（三重処理区の拡大）
平成2年	5月	第17次事業認可変更（三重処理区の拡大）
平成4年	12月	第19次事業認可変更（三重処理区の拡大）
平成8年	3月	第20次事業認可変更（三重処理区の拡大）
平成12年	3月	第23次事業認可変更（三重処理区の拡大）
平成15年	4月	第25次事業認可変更（三重処理区の拡大）
平成22年	8月	第26次事業認可変更（三重処理区の拡大）
平成29年	3月	第29次事業認可変更（三重下水処理場の用地縮小）
平成31年	1月	第30次事業認可変更（三重処理区の縮小）
令和6年	3月	第33次事業認可変更（三重処理区の拡大）

三重下水処理場



長崎市上下水道局



三重下水処理場の概要

三重下水処理場は、長崎県の計画による新長崎漁港整備事業に併行して、漁港関係施設や水産加工場及び家庭等の汚水进行处理し、清潔で快適な生活環境の確保と畝刈湾等の公共用水域の水質汚濁を防止するために計画され、その主な地域は畝刈、さくらの里、檜山、三重田の各地区、さらに旧外海町の永田、黒崎地区です。

昭和 53 年より管渠工事に着手し、処理場建設は日本下水道事業団に委託して、昭和 59 年 8 月に供用を開始しました。平成 2 年度に水処理系列を増設し、現在の処理能力は 11,100m³/日となっています。

近年では人口減少等の社会情勢の変化に伴い、令和5年度に全体計画、事業計画の見直しを行っています。

計画概要 (令和5年度末)

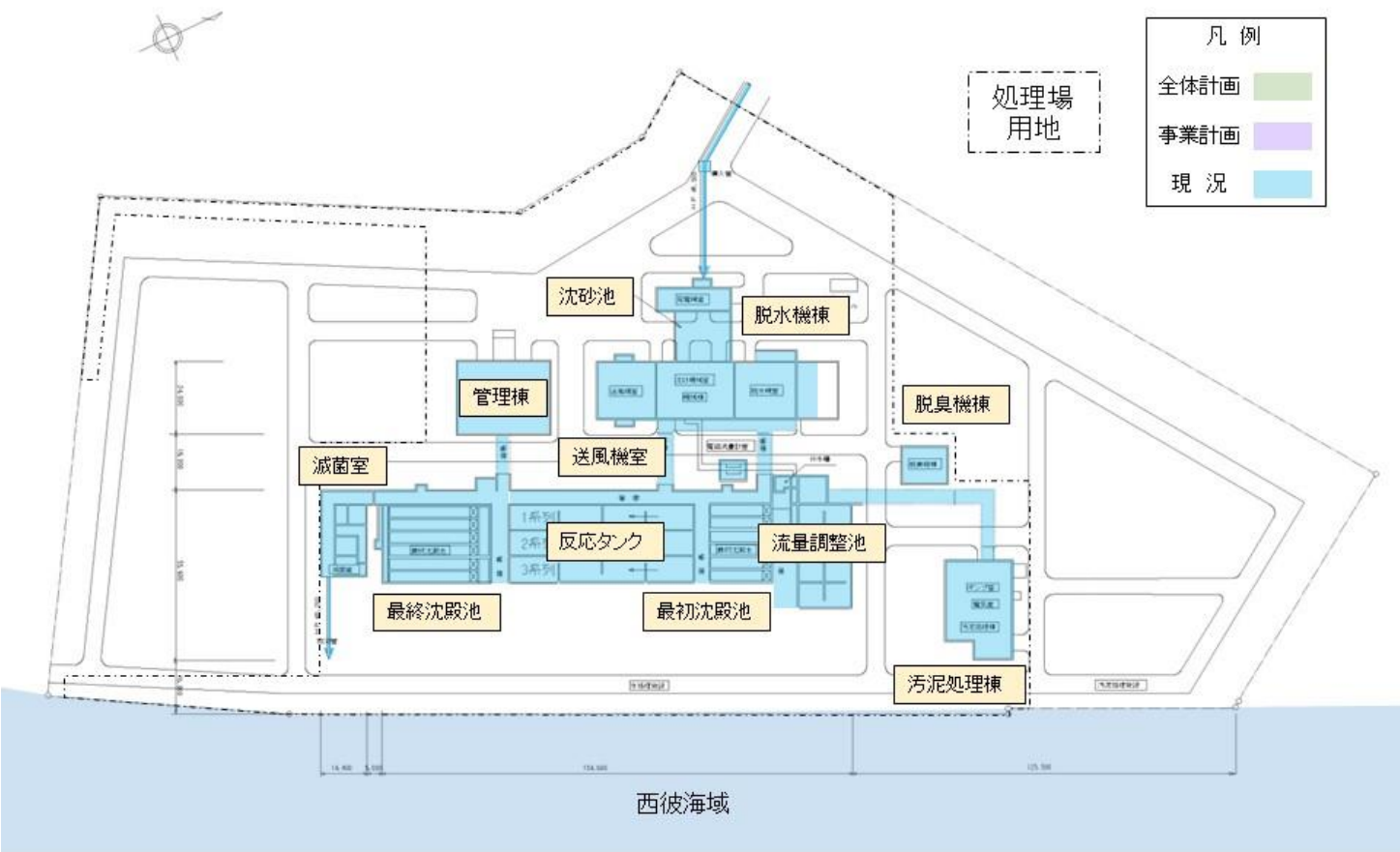
区 分		全体計画（R27）	事業計画（R10）	現 況
所 在 地		長崎市京泊 2 丁目 8 番 50 号		
排除方式		分流式		
処理方式		標準活性汚泥法		
処理場敷地面積		374 アール		
供用開始年月日		昭和 59 年 8 月 1 日		
処理区域面積		587.9ha	587.9ha	407.8ha
計画処理人口		14,380 人	17,510 人	20,889 人 (R5 末)
水洗化人口		—	—	20,341 人 (R5 末)
計画日最大汚水量		6,095m³/日	7,285m³/日	—
施設処理能力		11,000m³/日	11,000m³/日	11,000m³/日
水 質	流 入 (mg/ℓ)	BOD 230	BOD 230	BOD 225
		SS 230	SS 210	SS 253
	放 流 (mg/ℓ)	BOD 15	BOD 15	BOD 4.9
		SS 40	SS 40	SS 4
放 流 先		西彼海域（海域 A-イ）		

主要設備

項 目		全 体 計 画	現 況 設 備
水 処 理	沈 砂 池	W2.00×L10.00×H4.4 1 池	同 1 池
	主ポンプ	5.0m³/分×30kW 2 台	同 2 台
		10.0m³/分×45kW 1 台 (1)	同 1 台 (1)
	流量調整池	W8.00×L34.0×H5.0 2 池	同 2 池
	最初沈殿池	W7.7×L20.0×H3.0 2 池	同 2 池
	反応タンク	W8.00×L60.0×H5.0 2 池	同 2 池
	送 風 機	30m³/分 3 台 (1)	同 2 台
汚泥処理	最終沈殿池	W7.7×L30.0×H3.0 2 池	同 2 池
	初沈汚泥濃縮	重力式 φ6.0×H3.0 1 槽	同 1 槽
	余剰汚泥濃縮	ベルト濃縮機 10m³/h 1 台	同 1 台
	脱 水 機	スクリュープレス脱水機 230kg/h 2 台	加圧脱水機 1 台
スクリュープレス脱水機 1 台			
脱 臭 設 備		—	生物脱臭装置+薬液洗浄 + 活性炭 2 台

補足：() 内は予備

全体平面図



三重下水処理場 一般平面図